

陳情第69号	受理年月日	平成30年3月6日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	通年型アイススケート場の建設について	
要旨	<p>かつて北九州市には、若戸スポールなど6つのアイススケート場があったが、平成19年に皆無となった。その後、西日本総合展示場本館に冬季限定の民営スケート場として北九州アイススケートセンターが開設されたが、設備の老朽化などの課題もあり、その持続可能性に大きな不安を抱えている。</p> <p>こうした現状に鑑み、当連盟が北九州市議会と北九州市に通年型アイススケート場の建設を求める陳情を重ねた結果、幼少期からスポーツや運動に親しむきっかけとする「わくわく体験スポーツ教室」が実施され、毎年11月には北九州市民体育祭の一環として、北九州アイススケートセンターで市民向けの「日曜スケート教室」などが実施されている。</p> <p>しかし、夏季のリンク閉鎖期間中、スケートを愛好する一般市民や競技者は、飯塚市や福岡市のリンクに行くかスケートの中断を余儀なくされている。スケートを通じて市民の誰もが気軽に体力・健康づくりを行い、また、北九州の子供たちから将来のオリンピック出場を初めトップアスリートを目指せるよう通年型のアイススケート場の建設が切に望まれる。</p> <p>昨年12月末に閉園したスペースワールドの跡地活用については、イオンモール株式会社が2021年度中を目途に新たな施設をオープンさせることである。同社が今春広島市にオープンする地域創生型商業施設「THE OUTLETS」には、同社初となる屋内スケートリンクも整備されていると聞いている。商業施設内のリンクは施設利用者の増加や施設滞在時間延長にもつながると考えられ、市民が気軽にスポーツや運動に親しみ、スポーツや健康づくりを習慣にするための身近な施設になると思う。</p> <p>については、次のとおり措置していただきたい。</p>	

記

- 1 わくわく体験スケート教室を初めとする市民向け事業について、予算を確保し継続して実施すること。
- 2 民間経営の市内アイスリンクの開設について支援すること。
- 3 将来は、通年型の公設リンク建設を検討すること。
- 4 スペースワールド跡地利用の計画策定の中に、本市がイオンモールに要望する項目の1つに公式規格の通年型アイススケート場の整備について検討すること。